

2016年度事業報告

1. 理事会・総会

日 時	2017年2月25日(土) 午前11時(理事会) 午後1時(総会)
場 所	大阪キャッスルホテル
議 事	(1) 2015年度事業報告 (2) 2015年度決算報告 (3) 2015年度会計監査報告 (4) 2016年度事業計画(案) (5) 2016年度予算(案) (6) 新役員の選出について
記念講演	「アメリカ労働運動の再生に学ぶ」 山崎 憲さん／独立行政法人労働政策研究・研修機構 (講演内容は「市政研究」第196号(2017年夏季号)に収録)

2. 第2期・第3期「市民自治講座」の開講

□趣 旨

経済的価値観への一元化、人口減少と少子高齢化、都市及び中山間地域の衰退、ポピュリズムの勃興、ナショナルなものへの偏愛や非寛容の精神の跋扈など、危機は今そこに遍在している。

私たちはこれらの動きを、自治と民主主義の危機ととらえ、そのような時代潮流に抗して市民の自立と自律、自主と自治、共感と共生(連帯)を回復していく必要があると考える。このためには、市民が小さな空間を足がかりに、自ら文化を育み、そこからコミュニティや都市を再生していくことを通して、深刻化する社会の問題に立ち向かっていくほかない。その基礎には市民みずからが自治の哲学をつくりあげていくことが必要である。

「市民自治講座」は、これまでに蓄積されてきた人類の知恵から学ぶとともに、熟議を通して、新しい市民自治の姿を想い浮かべ、地域にねざした市民社会のつくり方を学び、市民の手で明日の自治をともに築いていくための基礎とすることをめざして開講する。

- ・主 催 「市民自治講座」実行委員会
(特定非営利活動法人NPO政策研究所・大阪市政調査会で構成)
- ・講 座 連続3回で構成する講座を年2回程度開催予定。

- ・会 場 原則として大阪市内（ドーンセンターなど）
- ・参 加 どなたでも。定員 30 人程度。連続参加を原則（スポット参加も可能）。

□第 3 期「市民自治講座」

- ・テ ー マ これからの文化政策
- ・講 師 中川幾郎さん（帝塚山大学名誉教授）
- ・日 程 12 月 16 日（土）・2 月 3 日（土）・3 月 17 日（土）午後 2 時～5 時
- ・会 場 ドーンセンター

3. 橋下市政検証プロジェクトの活動

2015 年 5 月 17 日実施の住民投票の結果を受け橋下氏が市長辞任を表明。その市政は任期 4 年（2011 年 12 月～2015 年 11 月）で幕を閉じた。

橋下市政の 4 年間で、大阪市の行政運営はどのように変容し、市民や市役所内部にどのような影響をもたらしたのか。全国的・歴史的にも稀有な橋下市政の 4 年間をつぶさに検証し、今後の取り組みの一助とすべきとの市職からの提案を受け、市労連全体で取り組むべき課題であるとの認識のもと、橋下市政検証プロジェクトを 2015 年 8 月に発足させ、今年 3 月の報告書とりまとめをめざして作業を進めている。

メンバー 三浦哲司さん（名古屋市立大学）

内田優子（市労連）

林 鉄兵（市職）

福田 弘・別当良博・西部 均（市政調査会）

経 過 第 12 回プロジェクト 1 月 13 日（金）午後 6 時 30 分～

・大阪市職員へのヒアリング（橋下市政の組織マネジメント）

第 13 回プロジェクト 2 月 13 日（月）午後 4 時～

・大阪市職員へのヒアリング（区 CM 制度～区役所現場から）

第 14 回プロジェクト 3 月 13 日（月）午後 4 時 30 分～

・大阪市職員へのヒアリング（区 CM 制度～事業部局現場から）

第 15 回プロジェクト 8 月 3 日（水）午後 6 時 30 分～

・大阪市職員へのヒアリング（橋下市政の組織マネジメント・続）

第 16 回プロジェクト 8 月 23 日（水）午後 3 時～

・オオサカ・シオン団員へのヒアリング

第 17 回プロジェクト 12 月 20 日（水）午後 3 時～

・報告書とりまとめ作業について

4. 大阪の自治を考える研究会の活動

大阪の自治を考える研究会は、維新の会が掲げる大阪都構想についての情報収集と動向分析、情報発信に取り組むべく 2010 年 12 月に発足し、情報収集と分析の成果は、計 3 回、ブックレットとしてまとめ出版している。2015 年 5 月 17 日、大阪市廃止・分割の是非を問う住民投票が行われ、反対が賛成を上回ったことで都構想は否決された。しかし、昨年 6 月に法定協議会が再設置され、市長も今年秋の住民投票をめざすとしており、この研究会も活動を継続している。

参 加	大阪地方自治研究センター・自治労大阪府本部 大阪府労連・大阪市労連・大阪市政調査会など	
経 過	第 53 回研究会	2 月 9 日 (木) 午後 6 時 30 分～
	第 54 回研究会	3 月 13 日 (月) 午後 6 時 30 分～
	第 55 回研究会	4 月 14 日 (金) 午後 6 時 30 分～
	第 56 回研究会	5 月 31 日 (水) 午後 6 時 30 分～
	第 57 回研究会	6 月 30 日 (金) 午後 6 時 30 分～
	第 58 回研究会	8 月 18 日 (金) 午後 6 時 30 分～
	第 59 回研究会	12 月 22 日 (金) 午後 6 時 30 分～

5. 会誌「市政研究」の定期発行

会誌「市政研究」については、第 194 号 (冬季号) では**特集●最低賃金を考える**を発行。非正規雇用の拡大、貧困の深刻化が進むなか、日本の最低賃金については、かねてよりその額の低さや地域格差などの問題点が指摘されている。本特集では、最低賃金の法・制度、自治体公契約条例、米国の最賃引き上げ運動や日本の若者の運動など、最低賃金をめぐる諸課題について考えた。

第 195 号 (春季号) では**特集●住民投票が映し出す地方自治の現在**を発行。重要な政策決定に対して住民投票を求める運動がある一方、2015 年 5 月に実施された大阪市廃止・特別区設置の是非を問う住民投票は、その問題点も明らかにした。権力者により利用あるいは黙殺される住民投票の二面性をとらえつつ、住民投票が民主主義と地方自治を活性化させるためにとりくむべき課題について考えた。

第 196 号 (夏季号) では**特集●ポピュリズムと地方政治**を発行。近年、大阪における維新政治、英国の EU 離脱、米国のトランプ大統領誕生、東京都知事・都議会選挙など、ポピュリズム政治の台頭が各地で見られる。ポピュリズム政治の背景とそれがもたらす問題点を明らかにし、地方政治がポピュリズムどう向き合っていくのかについてご寄稿いただいた。

第 197 号 (秋季号) では**特集●法定協議会再設置を批判する**を発行。昨年 6 月、大阪市

廃止・特別区への分割を否決した住民投票からわずか2年で法定協議会が再設置された。前回の法定協議会から住民投票、大阪府知事・市長ダブル選挙を経て法定協議会再設置に至る経緯を振り返りながら、再設置の問題点、今後行われる法定協議会での議論に対する懸念、特別区の「対案」として浮上した総合区の課題などについてご寄稿いただいた。

□第194号（冬季号） 2017年1月

特集●最低賃金を考える

アメリカの最賃引き上げ運動から学ぶもの	山崎 憲
賃金分布の変化に応じた最低賃金の水準設定の可能性	吉村臨兵
自治体公契約条例の現状と課題ー最低賃金を焦点にー	小畑精武
路上と職場ー最賃引き上げ運動の現状と展望ー	橋口昌治

図書紹介

労働調査会出版局編『改訂4版 最低賃金法の詳解』	
『季刊労働法ー特集・最低賃金制度のゆくえー』254号（2016・秋）	千本沢子
勝部麗子著『ひとりぼっちをつくらないーコミュニティソーシャルワーカーの仕事ー』	正木敦士
樋上恵美子著『近代大阪の乳児死亡と社会事業』	中澤 港

連載●なにわ路上観察紀行 第47回 奈良市界限その2

あおによし奈良の都の建築探偵	前田和男
----------------	------

連載●おおさかミュージアム雑観(25)

天王山を臨んで	加藤英一
---------	------

連載●続・韓国通信 漢江の辺にて(29)

民主共和国	金 徳 煥
-------	-------

大阪市における新自由主義的な教育改革の課題

ー改革はどのように学校や保護者に浸透しつつあるかー	濱元伸彦
---------------------------	------

第1期市民自治講座 民主主義再考ー原理的に考える(第3回)

市民社会から民主主義を考える	岡本仁宏
----------------	------

□第195号（春季号） 2017年4月

特集●住民投票が映し出す地方自治の現在

住民投票による意思決定の現状	武田真一郎
----------------	-------

辺野古新基地問題が映し出す地方自治の現在	岡田正則
----------------------	------

現在時点であらためて問う大阪市住民投票の意味

ー悪法に翻弄された大阪市民ー	薬師院仁志
----------------	-------

住民投票と議会をめぐる住民自治の分岐ー新住民自治論を提案するー	江藤俊昭
---------------------------------	------

図書紹介

「炭鉱の記憶と関西―三池炭鉱閉山二〇年展―」開催記念特集 炭鉱を知る一〇冊	谷合佳代子
脱工業化都市研究会編著『トリノの軌跡―「縮小都市」の産業構造転換と再生―』	宗田勝也
原口剛著『叫びの都市―寄せ場、釜ヶ崎、流動的下層労働者―』	西部 均
玉井金五・杉田菜穂著『日本における社会改良主義の近現代像』	高岡裕之
連載●なにわ路上観察紀行 第48回 奈良県大和郡山市界限	
金魚を案内役に城下町歴史探検	前田和男
連載●おおさかミュージアム雑観(26)	
楠木正成伝説を巡る	加藤英一
連載●続・韓国通信 漢江の辺にて(30)	
私の住むまち	金 徳 煥
第2期市民自治講座 トクヴィルと《平等》の政治哲学(第1回)	
アメリカとフランスのふたつのデモクラシーをめぐって	富永茂樹

□第196号(夏季号) 2017年7月

特集●ポピュリズムと地方政治

ポピュリズム(扇動政治)とリベラル・中道派	
―「大阪市廃止」構想を説明させる条例・請願のすすめ―	村上 弘
地方議会とポピュリズム―議会は何ができるか―	柏原 誠
日本政治におけるポピュリズムの展開	
―新自由主義から対抗的社会運動まで―	木下ちがや
「橋下現象」にみるメディアとポピュリズム	松本 創

図書紹介

薬師院仁志著『ポピュリズム―世界を覆い尽くす「魔物」の正体―』	伍賀偕子
「高橋市政が川崎に遺したもの」編纂委員会編	
『バブル崩壊の試練の中で 高橋市政が川崎に遺したもの』	小島 聡

連載●なにわ路上観察紀行 第49回 奈良県斑鳩町界限	
さまざまな「落差」で楽しむ法隆寺	前田和男
連載●おおさかミュージアム雑観(27)	
そこにミシンがあった	加藤英一
生野オモニハッキョ(学校)開校四〇周年(上)	
―猪飼野における地域活動の黎明―	金 徳 煥
講演 アメリカ労働運動の再生に学ぶ	山崎 憲
第2期市民自治講座 トクヴィルと《平等》の政治哲学(第2回)	
現代をも見通す「平等」と「不平等」をめぐる深い洞察	富永茂樹

□第 197 号 (2017 年秋季)

特集●法定協議会再設置を批判する

大阪の政治的危機－法定協議会再設置にいたる暴政－

薬師院仁志

法定協議会再設置にいたる経緯と問題

幸田 泉

法定協議会における議論への懸念

柳本 顕

合区・総合区導入の課題－大阪市戦略会議「総合区素案」を読む－

阿部昌樹

図書紹介

濱口桂一郎著『働く女子の運命』

千本沢子

連載●なにわ路上観察紀行 第 50 回

奈良県王寺町界限－聖徳太子の愛犬・雪丸を道案内に－

前田和男

連載●おおさかミュージアム雑感 (28)

溜め池はオアシス

加藤英一

生野オモニハッキョ (学校) 開校四〇周年 (下)

－猪飼野における地域活動の黎明－

金 徳 煥

第 2 期市民自治講座 トクヴィルと《平等》の政治哲学 (第 3 回)

トクヴィルと日本

富永茂樹